

事業所名

アプレ豊中緑丘

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちの最善の利益を目指し、特性や発達段階に応じた支援を行う。 保護者・家庭と子育ての悩みを共有することで保護者・家庭のストレスを無くす。 生きづらさを軽減させて社会に対応できるコミュニケーション能力等のスキルを身につける。 子どもたちの明るく輝かしい未来の創造を目指し、子ども・保護者と一緒に未来を創る。	
支援方針		個性を尊重し、たくましく思いやりのある人間として成長し、自立した社会生活を送れるように支援していく。 自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する能力や資質を育む。 自らを律しつつ、他者と協調し思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を育成する。	
営業時間		平日 11時30分 ～ 17時30分 土日祝日 11時00分 ～ 17時00分	送迎実施の有無 あり（片道20分以内で想定）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	【健康】迎えの際に検温と合わせて、視診及び口頭での体調不良の確認を行う。また事業所到着時には手洗い等を必ず行い、感染症予防への習慣作りを行う。 【生活】日々の生活の中での四季の移ろいや年中行事を知覚、体感できるよう季節やイベントに合わせた室内装飾を行う。	
	運動・感覚	【運動】けん玉やヨーヨーなどを使用した遊びを通してバランス感覚を養う。 【感覚】紙工作などの製作活動を通じて道具を使ったり、手先を動かす機会を通して微細運動を活性化する。	
	認知・行動	【認知】30分、1時間と設定のされたプログラムの中で、本人が見通しが立てやすいよう順序、手順、ルール等をわかりやすい「言葉」で説明し、自ら気持ちの切り替えやタイムスケジューリング、ルールや約束に基づいて行動できる規範意識を育む。 【行動】目標に向けて行動する「集中力」を育成するためにパーテーション等も活用した「環境構成」や「優先順位を示す」こと「情報を整理する」ことを心がけて支援を行う。	
	言語コミュニケーション	【言語】非言語的な思いも含めた個々の意思を傾聴し、自身の意見を言葉で表出できるよう言語化に向けたトレーニングを行う。 【コミュニケーション】タブレット等も活用した共同作業の中でお友だちやスタッフとの会話を重ね、他の人の気持ちを理解できるように丁寧な言葉かけを行うことによって「コミュニケーション能力」を高めていく。	
	人間関係社会性	【人間関係 社会性】小集団の中で様々な年齢、異なる地域のお子さんとの交流を通して良好な人間関係の構築に向けたコミュニケーショントレーニングをおこなう。 またタブレット機器も活用した他者との共同作業を行う中で言語、非言語の様々なコミュニケーションを行い、共感、協力することの大切さ、喜びや成功体験を共有し協調性と社会性を育む。タブレット機器の使用を通して、社会生活に必要な正しいICTスキルとネットリテラシーを身につける。	
家族支援		・日々の送迎時に学校やご家庭での様子を共有する時間を設け、かつ連絡ノートにて情報共有を行う。 ・定期的な面談にて学校やご家庭での課題やお困りごと、進路等についての助言を行う。	移行支援 ・本人や保護者の意思を尊重し、面談を通して各ライフステージに合わせた進学、就労の助言やサポートを適時行う。
地域支援・地域連携		・地域関係機関「学校」「自治会」「社会福祉協議会」などとの連携 ・地域の消防署と連携しての救命救急講習の実施	職員の質の向上 ・毎日のミーティングにて課題の確認と整理を行う。 ・定期的に提携外部業者の教材による研修を行う。 ・職員個々の専門資格の取得を推奨し、支援の質の向上に努める。
主な行事等		・ハロウィンやクリスマス、初詣等の季節ごとのイベントや室内装飾を実施する。 ・ゴールデンウィーク等の長期連休の際には、立体迷路や大型公園への外出レクリエーションを行う。 ・年2回の避難訓練の実施。	